



挨拶でつながる

苫米地 高志

挨拶は人間関係をつくる第一歩です。一度も話をしたことがない人とも、「こんにちは」「おはようございます」というような挨拶を交わすことで、心の距離が縮まります。毎日のように挨拶を交わしている人には、相手の様子や表情などに合わせて言葉を付け加えることで、親しさを増すことができます。

毎朝、校門で子供たちを出迎えながら、私は全校の子供たちに挨拶をしようと心がけています。また、子供たちも、出迎えてくれる先生方や代表委員会の子たちに気持ちのよい挨拶を交わそうとしています。このような気持ちが重なり合った国立一小的の朝は、活気あふれる出会いの場になっています。

通勤中や通学中の方からも、よく声をかけていただいています。校門の前で軽く帽子を持ち上げながら微笑みを浮かべてくれる方がいます。通り過ぎる際に、自転車に乗りながら大きく手を振ってくれる方もいます。犬の散歩の途中に、挨拶とともに一小的の子供たちのことをほめてくれる方もいます。通学途中の一小的の卒業生も、笑顔を見せてくれながら、元気に声をかけてくれます。

「気持ちのいい挨拶をすることができますね！」国立一小を訪れたお客さんから、このような言葉で、子供たちのことをほめていただくことがあります。伝統になっている「自慢の挨拶」のことをほめられると、子供だけでなく、教職員の気持ちもはずんでいきます。

どんなに便利な世の中になっても、社会の中で生きてくためには人と人との関係を構築していく必要があります。国立一小的の子供を含めて、学校に関わる全ての人が「自慢の挨拶」といえるように、人と人をつなぐ挨拶を日常化させていきたいと考えています。

特別支援教室 はばたき

特別支援教室「はばたき」の友辺創真と申します。「はばたき」では、利用している子供たちの特性に合わせて2～3人で行う小集団指導と、1対1で行う個別指導を行っています。学習内容は、集中力の高め方、持ち物を自分で管理する方法、良好な人間関係の作り方、考えをまとめて話す方法など様々ですが、「通常学級で自信をもって生活できるようになる」を目標に指導をしています。特別支援教室に興味をもたれた方は学校の方までご連絡ください。

特別支援教室「はばたき」の成田弥生と申します。今年度も子供たちの「わかった」「できた」「良かった」「楽しい」などの言葉をたくさん聞けるような指導を行っていきます。今から子供たちの笑顔が楽しみです。私は挨拶を何よりも大切だと思っています。私からすすんで挨拶をしながら子供との関係をつくって行きます。

特別支援教室「はばたき」を担当させていただく村松拓と申します。小さなことから一つひとつ「やった！できた！」と子供たちに感じてもらい、それが学校生活を送っていく自信につながるよう個に応じて寄り添った指導をして参ります。どうぞよろしく願いいたします。

5月の行事予定 5月の生活目標「時間を大切にしよう」

月	火	水	木	金	土	日
		1 天皇即位の日	2 休日	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子どもの日
6 振替休日	7 教育実習①始 視力(6年)	8 音楽鑑賞教室(5年)	9 城山たんけん(3年) 個人面談①	10 安全指導・点検日 委員会 視力(4年) 合同学習(杉の子) 個人面談②	11	12
13 教育実習②始 体力向上週間始 日光移動教室説明会(6年) 個人面談③ 3・4年遠足	14 4時間授業 交通安全教室(1年) 個人面談④	15 耳鼻科健診 地区班顔合わせ PTA総会	16 遠足(1・2年) 個人面談⑤	17 心臓検診(1年・対象者) クラブ 個人面談⑥	18 学校公開日 オリ・パラ教育 方面別集団下校訓練	19
20 尿検査(二次) 遠足予備日(3・4年)	21 尿検査(二次予備)	22 やご救出作戦 (3年・杉)	23 眼科健診 4時間授業	24 体力向上週間終 ピーマン苗植え(2年・杉) クラブ	25	26
27 遠足予備日(1・2) 体力テスト指導	28 交通安全教室(自転車) (3年)	29	30 にこにこ活動 歯科検診	31 昭和記念公園(杉) ふれあい月間始 教育実習終 委員会		